

2022年3月期第1四半期 決算説明資料

目次

1. 2022年3月期 第1四半期決算 P 2
2. 2022年3月期 第1四半期のトピックス P16
3. 重点施策 P21

2022年3月期 第1四半期決算

決算ハイライト

売上高

12,636百万円
(前年同四半期比+ 35.0 %)

売上総利益

2,372百万円
(前年同四半期比+ 67.7 %)

営業利益

989百万円
(前年同四半期比+ 243.0 %)

1Qサマリー

- 半導体製造装置業界は、5 G 関連やデータセンター向けに需要拡大が続いており、設備投資は好調に推移
- 工作機械業界は、輸出向けを中心に受注環境は改善傾向
- 主力のアルミニウムを中心に全品種で好調な推移
- IR活動強化・株主還元強化の1つとして、株主優待制度導入を決定

連結損益計算書（PL）サマリー

好調な半導体製造装置業界を中心に成長が持続、 前年同四半期比で増収増益を達成

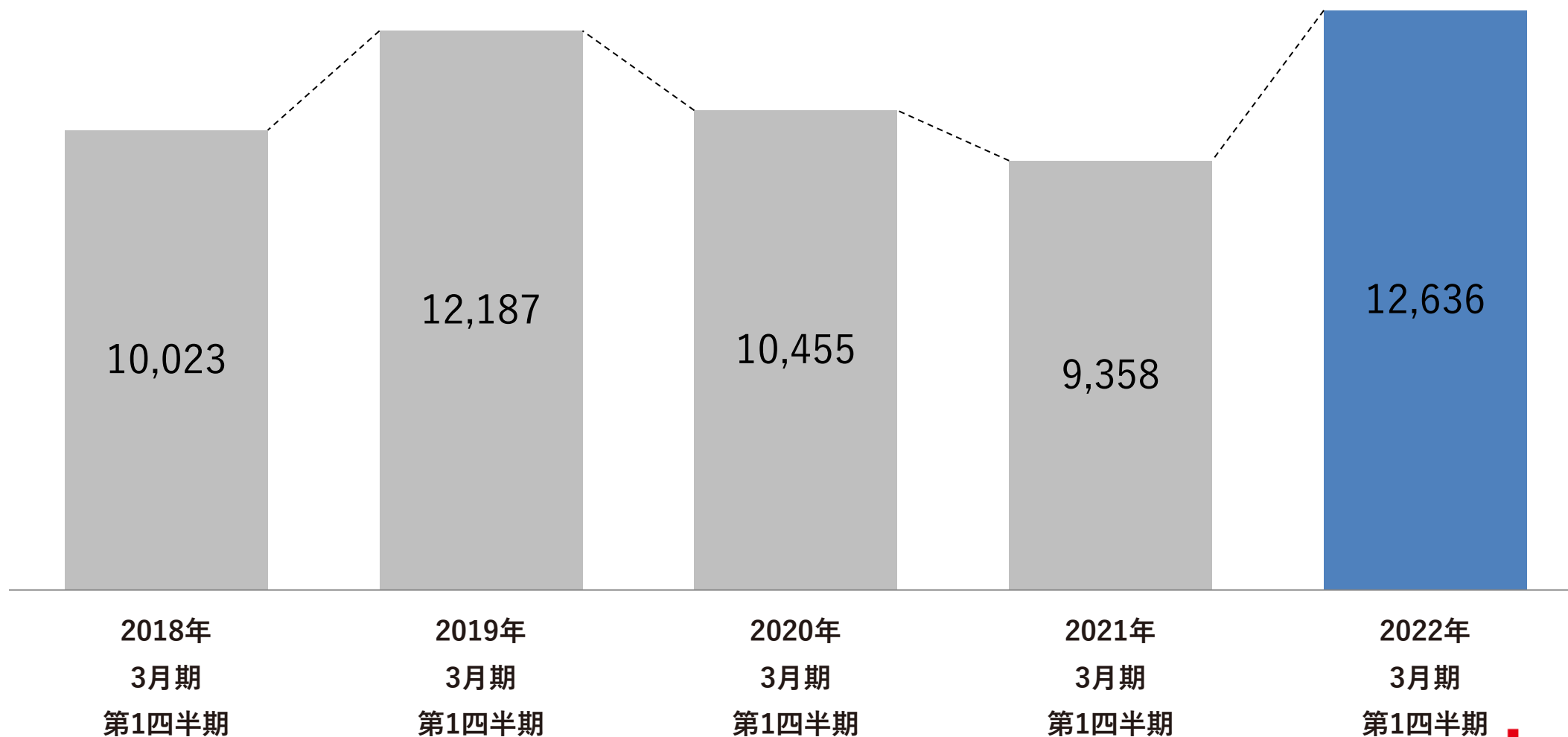
(百万円)	2021/3期 1Q	売上高比	2022/3期 1Q	売上高比	増減率
売上高	9,358	-	12,636	-	+35.0%
売上総利益	1,414	15.1%	2,372	18.8%	+67.7%
営業利益	288	3.1%	989	7.8%	+243.0%
経常利益	309	3.3%	1,030	8.2%	+232.8%
親会社に帰属する 当期純利益	215	2.3%	717	5.7%	+233.0%

直近の売上高推移

前年同四半期比 35.0% 増加

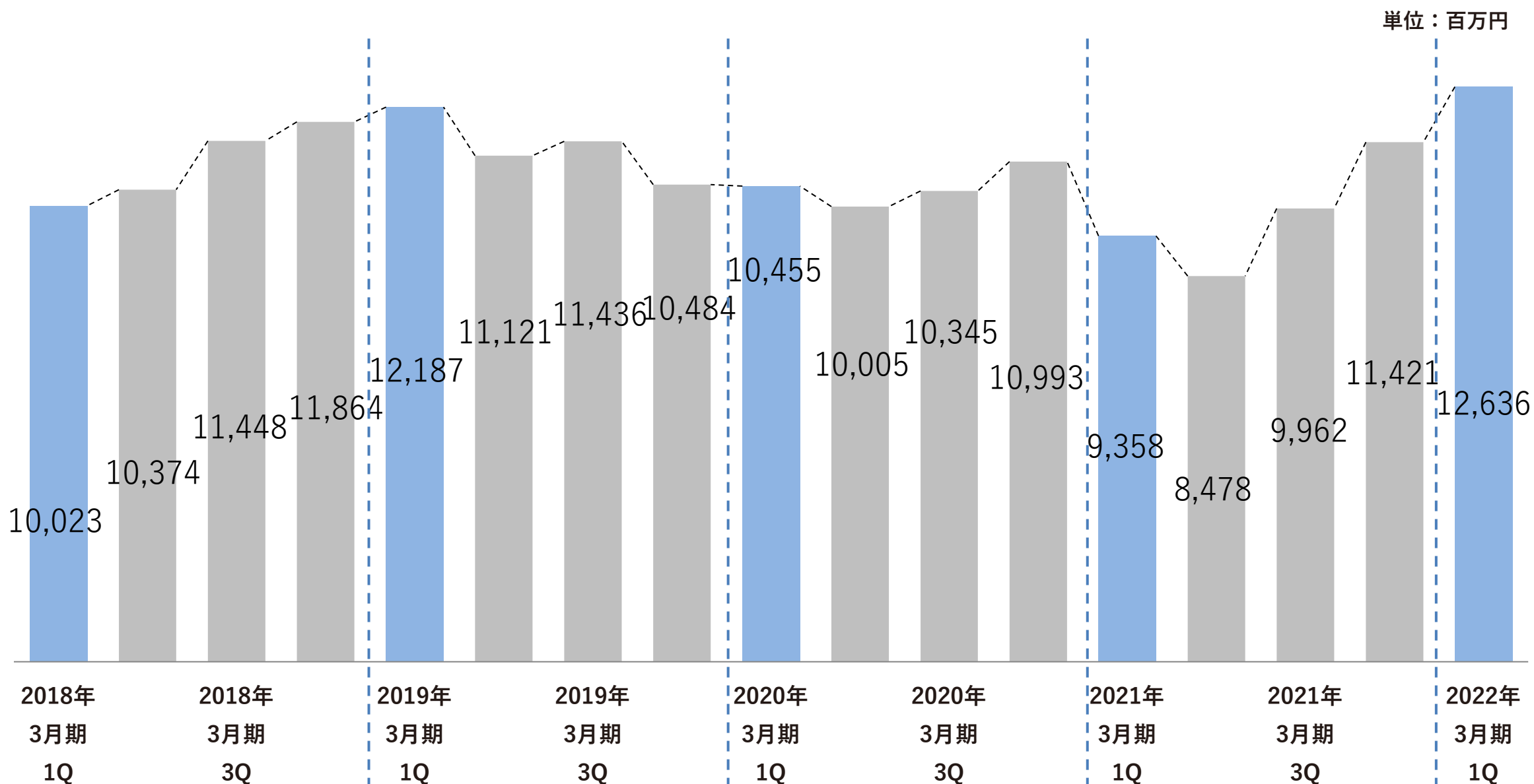
- ◆ 前年同四半期は新型コロナウイルス感染症の影響で低迷を余儀なくされたが、2022年3月期第1四半期は、半導体製造装置業界の伸張等を背景に過去最高の売上高を達成

単位：百万円



売上高の四半期毎推移

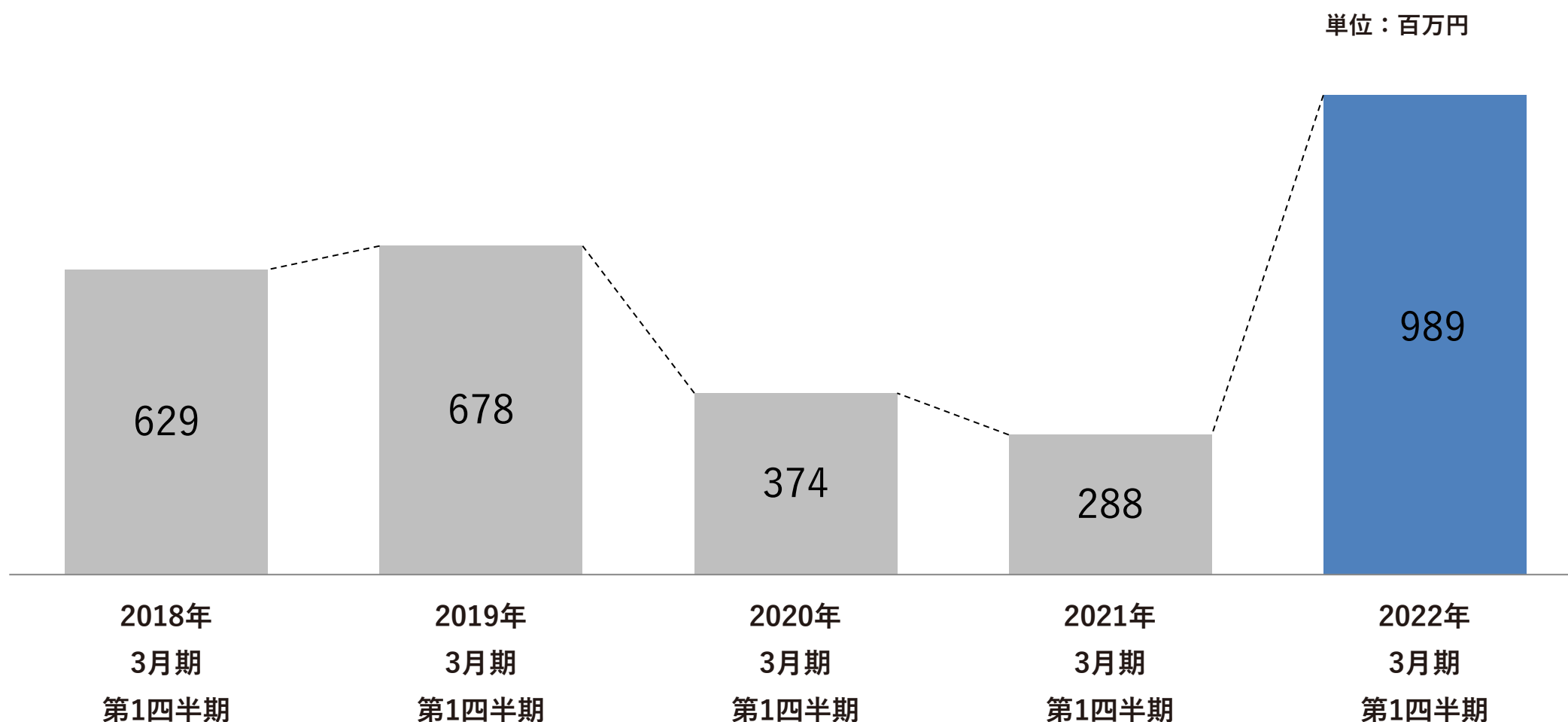
2021年3月期 2Qを底としてコロナウイルス感染症の影響を脱却、今期においても好調を持続



直近の営業利益推移

前年同四半期比 243.0% 増加

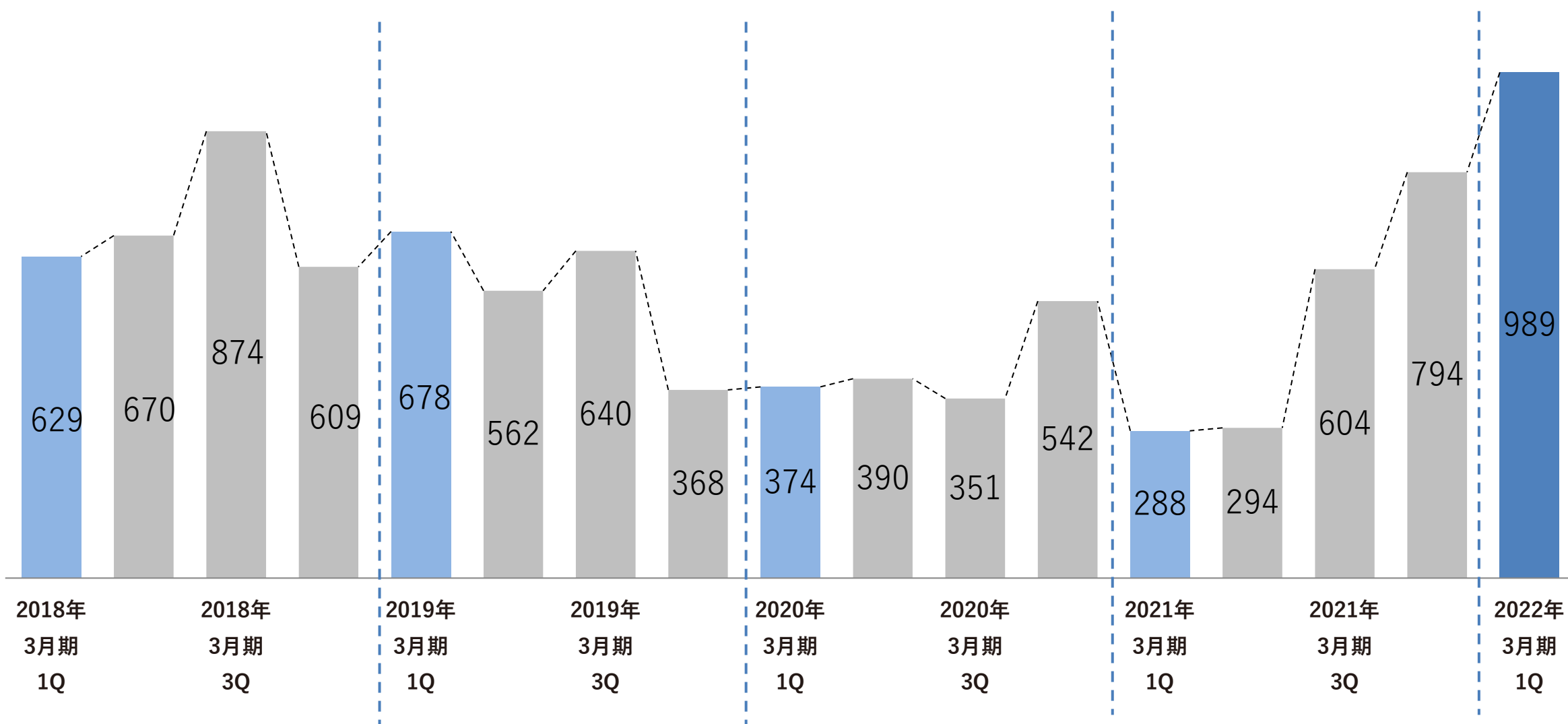
- ◆売上高の増加と売上原価率低減が主因
- ◆原材料市況に伴う商品在庫評価益などが発生



営業利益の四半期毎推移

2021年3月期3Q以降、営業利益が増加中

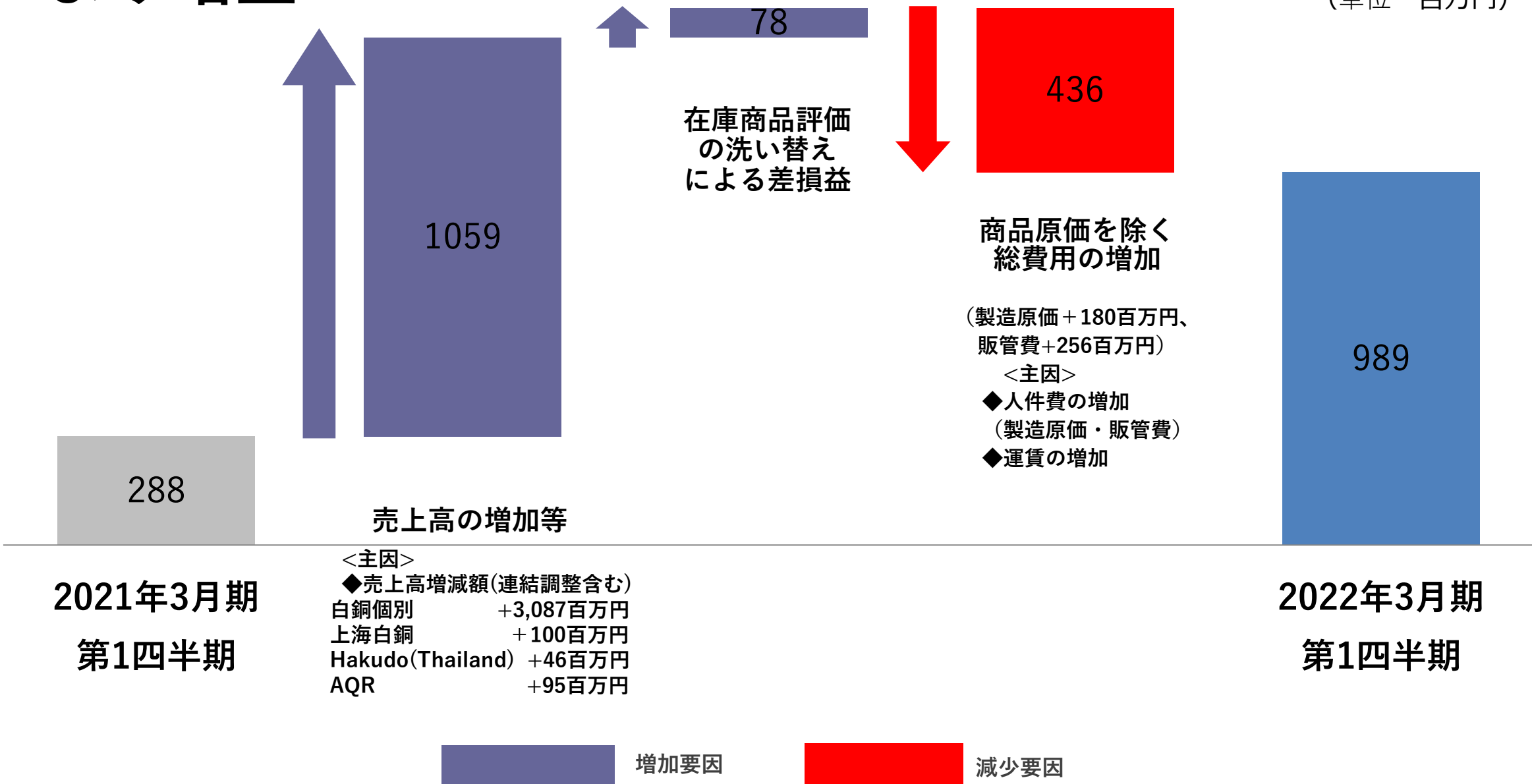
単位：百万円



営業利益の差異要因

売上高の増加と在庫商品評価の洗い替えの影響により増益

(単位 百万円)



品種別売上高

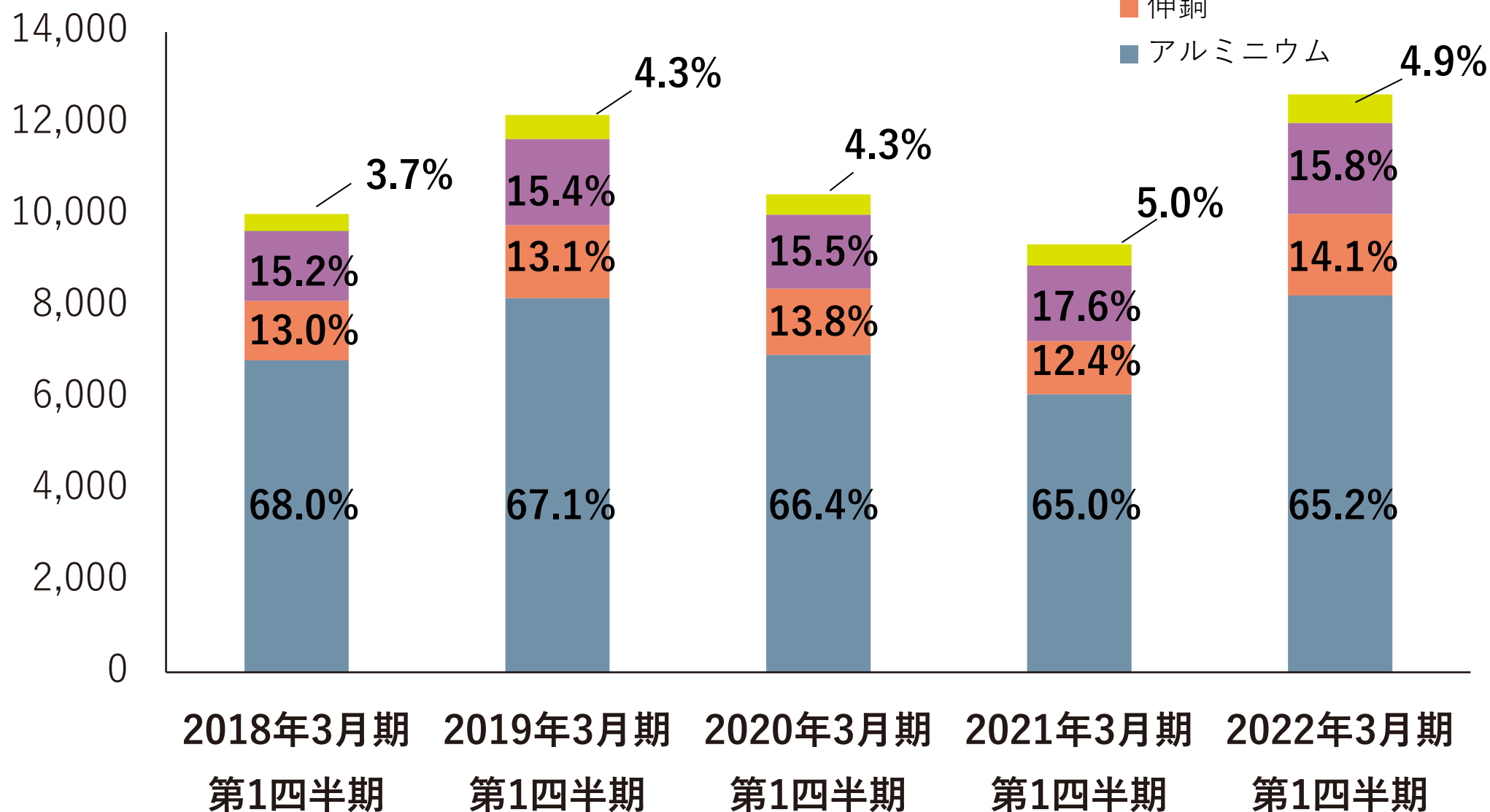
主力のアルミニウムを中心に全ての製品で前年同四半期より増収

(百万円)	2021/3期 1Q	2021/3期 2Q	2021/3期 3Q	2021/3期 4Q	2022/3期 1Q	前年同四半期 増減率
連結売上高	9,358	8,477	9,962	11,421	12,636	+35.0%
アルミニウム	6,082	5,556	6,550	7,458	8,242	+35.5%
伸銅	1,161	1,114	1,328	1,496	1,780	+53.3%
ステンレス	1,648	1,380	1,612	1,874	1,991	+20.8%
その他	466	427	472	593	621	+33.4%

品種別売上高の構成比率

主力のアルミニウム製品の比率が前年同四半期比0.2ポイント増加し
伸銅製品の比率が1.7ポイント増加した

(単位：百万円)



貸借対照表 (BS)

< 貸借対照表(前連結会計年度末比) >

単位：百万円

資産の部	2021年3月末	2021年6月末	増減	負債及び純資産の部	2021年3月末	2021年6月末	増減
流動資産	24,851	28,033	3,182	流動負債	15,189	18,357	3,167
現金及び預金	5,924	6,656	732	支払手形及び買掛金 (含 電子記録債務)	13,132	15,995	2,863
受取手形及び売掛金 (含 電子記録債権)	12,850	14,609	1,758	未払金・未払費用	956	1,473	517
棚卸資産	5,960	6,627	666	未払法人税等	469	337	△ 132
その他流動資産	115	139	23	その他流動負債	631	550	△ 80
固定資産	8,264	8,352	88	固定負債	55	56	0
有形固定資産	6,370	6,401	30	負債合計	15,245	18,413	3,167
無形固定資産	402	443	41	純資産	17,869	17,972	102
投資その他の資産	1,491	1,507	16				
資産合計	33,115	36,385	3,270	負債及び純資産合計	33,115	36,385	3,270

■ 主要項目の増減要因分析

①流動資産 28,033百万円 (前連結会計年度末比 3,182百万円増加)

- ・ 現預金の増加
- ・ 売上高増大による受取手形及び売掛金の増加

②固定資産 8,352百万円 (前連結会計年度末比 88百万円増加)

- ・ 有形固定資産の増加 30百万円
- ・ 無形固定資産の増加 41百万円
- ・ 投資その他の資産の増加16百万円

③流動負債 18,357百万円 (前連結会計年度末比 3,167百万円増加)

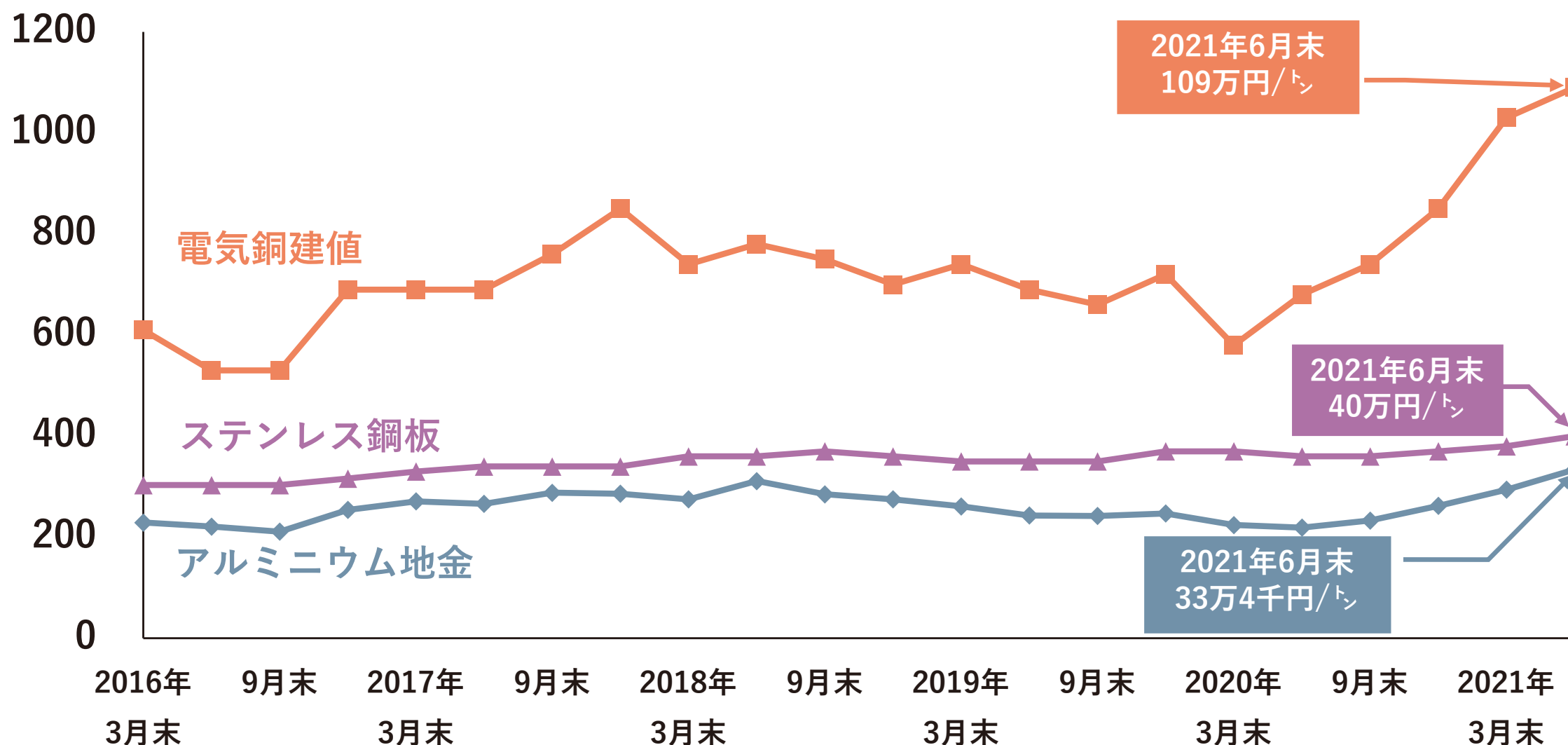
- ・ 支払手形及び買掛金の増加
- ・ 未払金、未払費用の増加

④純資産 17,972百万円 (前連結会計年度末比 102百万円増加)

事業環境（1） アルミニウム・銅・ステンレスの原材料市況

アルミニウム・伸銅・ステンレスの地金価格は上昇傾向継続

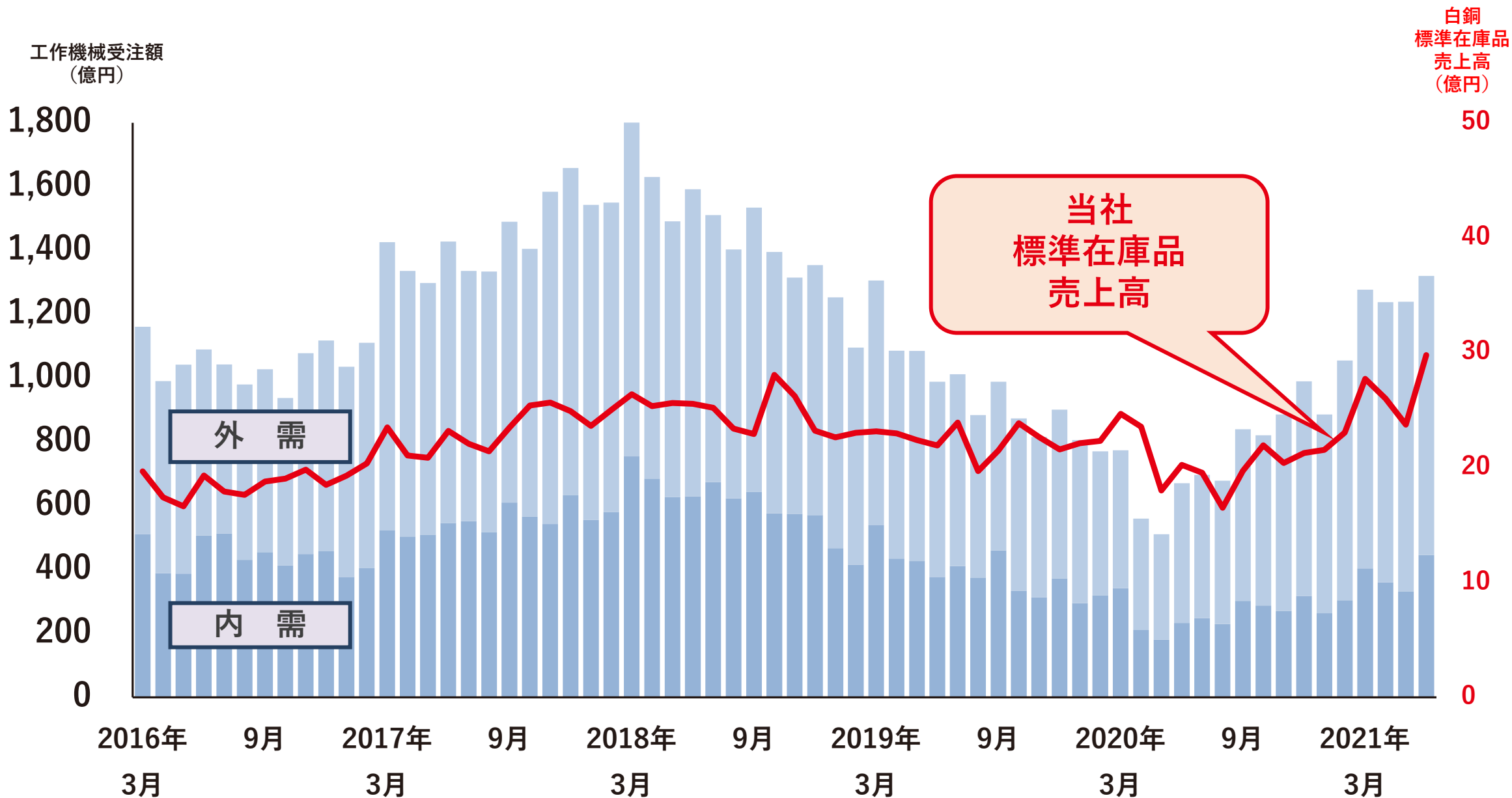
(単位：千円/トン)



ステンレス鋼板：鉄鋼新聞月別中心値
アルミニウム地金：日本経済新聞月別平均値

事業環境（2） 工作機械受注額と標準在庫品売上高との比較

工作機械受注額は外需・内需ともに回復傾向



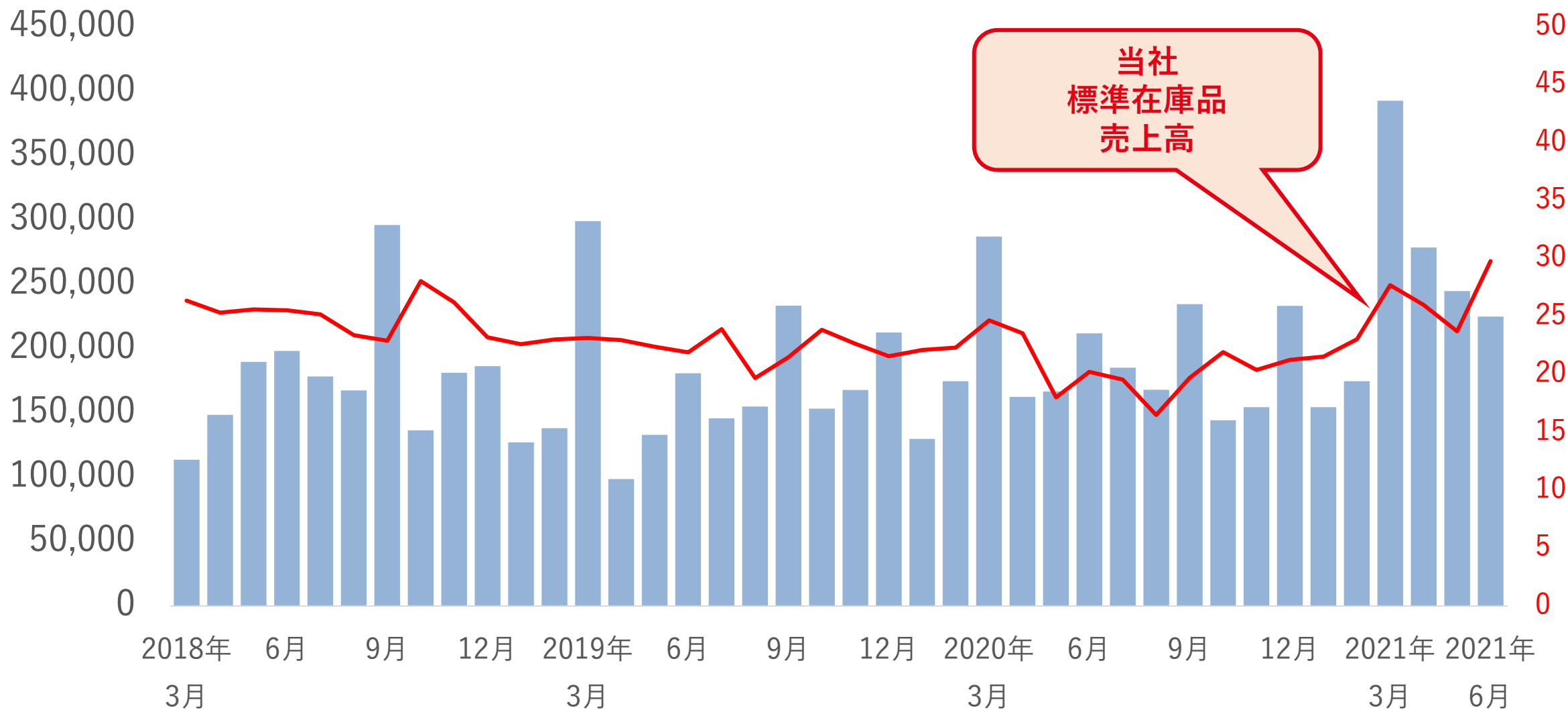
出典：日本工作機械販売協会 工作機械受注統計

事業環境（3） 半導体製造装置販売額と標準在庫品売上高との比較

5G関連やデータセンター向けの需要拡大継続が見込まれる

日本製製造装置販売額
(千億円)

白銅
標準在庫品
売上高
(億円)



出典：日本半導体製造装置協会 統計データ

2022年3月期 第1四半期のトピックス

2022年3月期 業績予想の修正

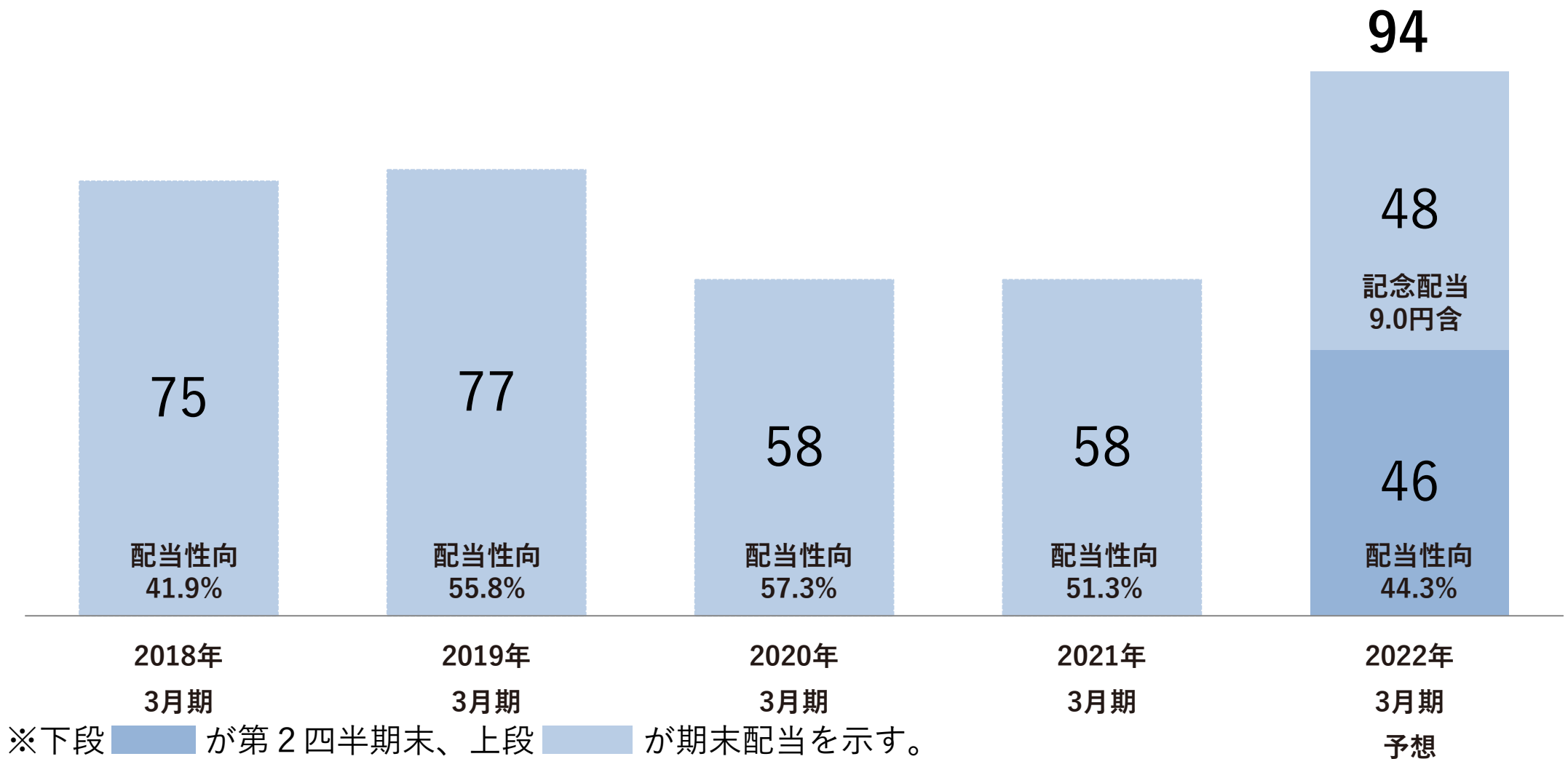
期初発表予想から業績予想を上方修正

2022年3月期第2四半期	前回発表予想	今回修正予想	増減額	増減率
売上高（百万円）	23,700	25,400	1,700	7.2%
営業利益（百万円）	1,410	1,880	400	29.1%
経常利益（百万円）	1,480	1,880	400	27.0%
親会社に帰属する当期純利益（百万円）	1,020	1,300	280	27.5%

2022年3月期	前回発表予想	今回修正予想	増減額	増減率
売上高（百万円）	48,000	52,000	4,000	8.3%
営業利益（百万円）	2,920	3,420	500	17.1%
経常利益（百万円）	3,000	3,500	500	16.7%
親会社に帰属する当期純利益（百万円）	2,070	2,400	330	15.9%

配当予想～1株当たり配当金の推移～

2022年3月期から中間配当実施 業績上方修正に伴い、配当予想を増額



株主優待制度を新設

株主の皆様への更なる還元を図るため、ポイント制による株主優待制度「白銅プレミアム優待倶楽部」を導入

プレミアム優待倶楽部とは・・・

株主様の保有株数・期間に応じた「優待ポイント」が付与され、ポイントを使って好きな商品やサービスと交換できるサービス

保有株式数	付与されるポイント	贈呈時期
300株未満	0ポイント	—
300～399株	3,000ポイント	毎年11月
400～499株	5,000ポイント	
500～599株	10,000ポイント	
600～999株	20,000ポイント	
1,000～1,999株	30,000ポイント	
2,000～2,999株	40,000ポイント	
3,000株以上	50,000ポイント	

東証新市場区分の選択

東証新市場区分の適合状況

- 2021年7月9日付で東京証券取引所より、新市場区分における上場維持基準への適合に関する一次判定結果を受領、「プライム市場」への上場維持基準に適合していることを確認いたしました。
- 東京証券取引所が定めるスケジュールに従い、今後、取締役会で新市場区分における市場区分選択の決議など所定の手続きを進めて参ります。

重点施策

重点施策（1）－1

(1)ダントツの品質・ダントツのスピード・ダントツのサービス・納得の価格の実現

(1)-1 ロボットなど、省人・省力化生産設備の積極投入、製造現場のIoT推進による製造現場の革新

【過去の投資実績と来期の予定】

2022年3月期は工場自動化設備や白銅ネットサービスへの投資など873百万円を予定

固定資産取得額(連結)

(単位：百万円)

	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期 (予定)
有形固定資産	1,227	1,086	593	485	611
無形固定資産	83	213	111	105	262
取得額合計	1,311	1,300	705	591	873

設備投資の効果により、当社工場の生産能力は
2018年3月期と比較し137%に増強した

【納期繰延発生率（カタログ納期より遅延した件数率）】

2018年3月期と比較し2021年3月期は約1/13に減少

【製造関連の返品発生件数率】

2018年3月期と比較し2021年3月期は約1/4に減少

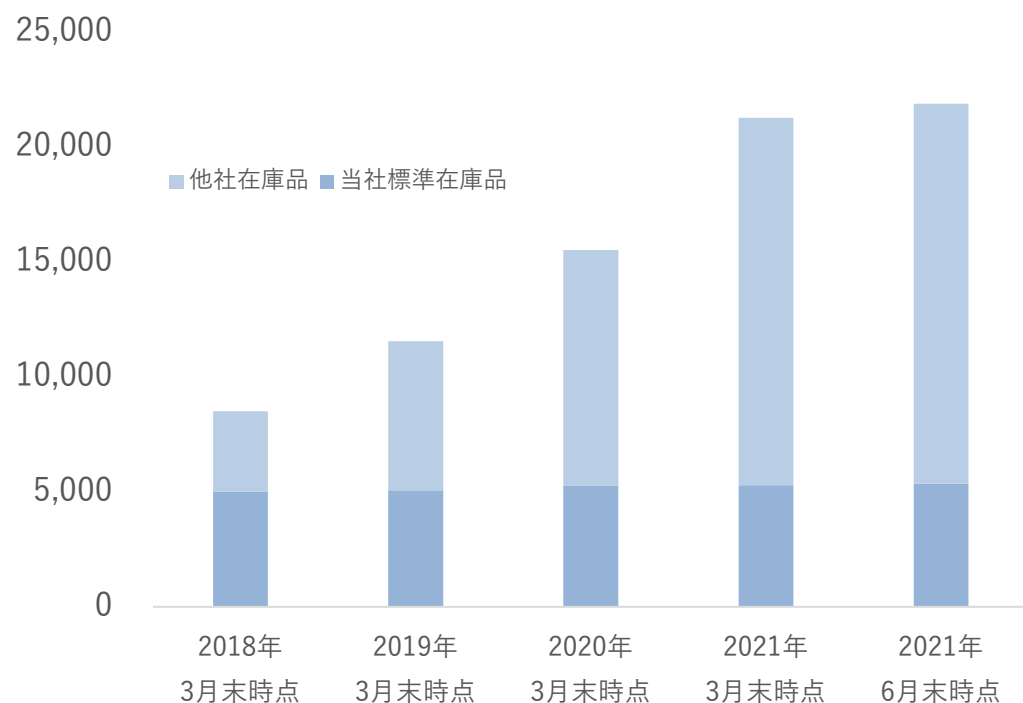
重点施策（1）－2

(1)ダントツの品質・ダントツのスピード・ダントツのサービス・納得の価格の実現

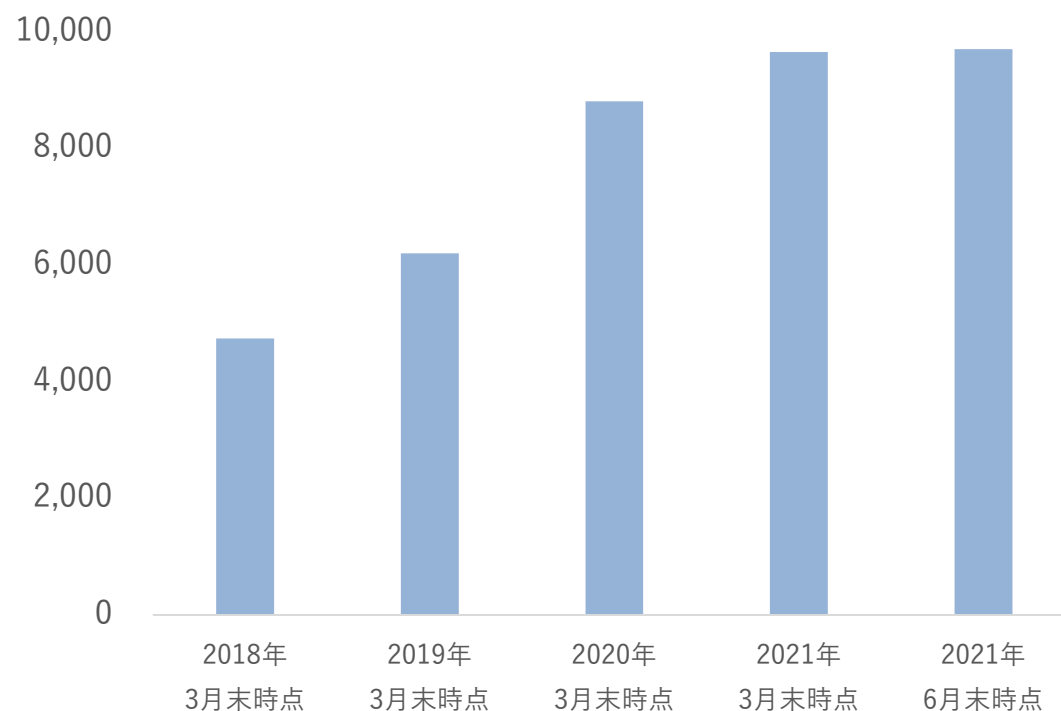
(1)-2「白銅ネットサービス」の更なる利便性の向上

- ・ 品目サイズを大幅拡充、約21,900品目サイズがご利用可能
- ・ 工具、ネジ等材料以外の取り扱いも増加中
- ・ 見積りの白銅ネットサービス利用率90%を目指す

【白銅ネットサービス ご利用可能アイテム数】



【白銅ネットサービスご利用登録社数推移（累計）】



重点施策（2）

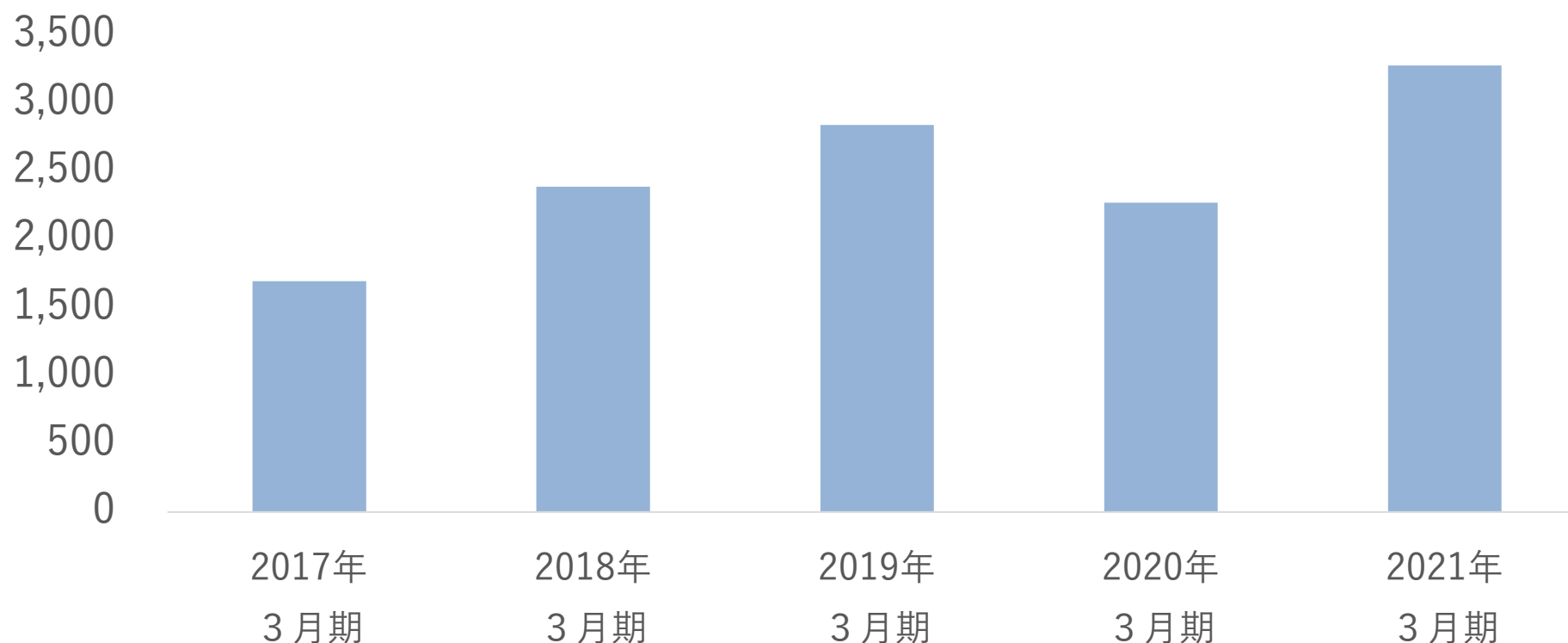
(2) 海外事業の拡大

- ◆ 海外子会社の売上高および利益の増大
- ◆ 2020年6月に出資を完了したベトナム大手非鉄金属商社であるオリスター社との協業体制の構築
- ◆ 海外での非鉄・ステンレスのオーダーメイドプレート販売網確立
- ◆ 海外代理店との連携強化と新規進出国（米国・韓国等）の検討
- ◆ 海外でのWeb販売の強化

白銅グループ全体に占める海外事業の売上高10%以上を目指す

【海外事業の売上高推移】

(単位 百万円)



※日本から海外子会社以外への輸出売上高と海外子会社の売上高の合計金額

あたらしい、を、素材から。



重点施策（3）－1

(3) 新規事業の育成

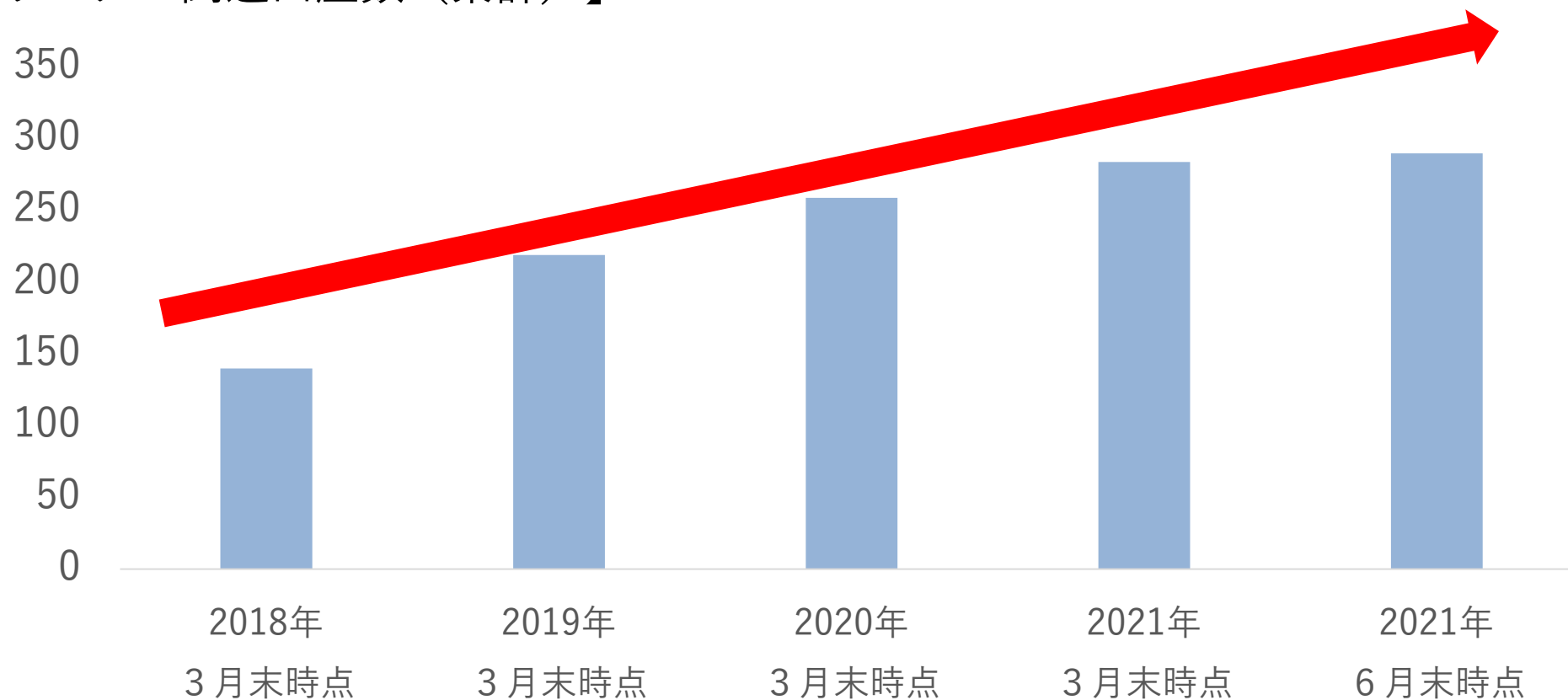
(3)-1 3Dプリンターによる金属製品の受託製造

- ・アルミダイカスト合金「ADC12」の造形サービスの販売強化
- ・3D造形に関するトータルソリューション「3D+ONE」
- ・検査設備増強による検査体制の強化
- ・3Dプリンターの相乗効果を狙った金型・自動車業界への拡販



画像提供：3D Systems Corporation

【3Dプリンター関連口座数（累計）】



重点施策（3）－2

(3) 新規事業の育成

(3)-2 航空宇宙規格材料のコンビニエンスディーラーを目指す

業界最大級の
豊富な在庫ラインアップ

航空機の構造材、各種の装備品
や人工衛星部品などに使用され
る材料を豊富なサイズラインアッ
プで品揃え

規格に合致した品質確保

JIS Q 9100(航空宇宙)を取得
神奈川工場・滋賀工場

海外からの輸入にも対応

海外との幅広いネットワークを使
って、輸入にも迅速に対応いた
します。

2020年1月にウォータージェットを導入、航空宇宙業界を中心に販売展開












あらゆる材質を任意の形状に切断加工

重点施策（4）

(4) ESG/SDGsの取組み

経営幹部を中心としたESG/SDGs経営委員会を設置

「事業を通じた継続的な社会への貢献」と「中長期的な企業価値の向上」の実現を目指す

ESG区分	マテリアリティの例	SDGs 17のゴール
E	脱炭素社会実現への取組み	    
	スクラップ率低減	
	産業廃棄物削減	
	配送効率の改善	
	消費電力削減	
	ECOシリーズ強化	
S	従業員満足度向上	  
	従業員の健康増進	
	災害対策の強化	
G	コンプライアンス・リスク管理	
	JISQ9100の全社取得	

ご清聴ありがとうございました。

■本資料における注意事項

この資料には、2021年8月現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競業状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

■お問合せ先

白銅株式会社 経営企画本部長 關濱 亮
メールアドレス：001002@hakudo.co.jp
ホームページ www.hakudo.co.jp